

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう  
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸  
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

## 第1711回例会

令和4年5月19日 (12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長 (中目地区ライラ委員長、卓話ありがとうございました。さすが地区のライラ委員長、すばらしく解り易い卓話でありました。)
- 須藤正樹幹事 (中目パスト会長2回目の卓話ありがとうございます。RYLA委員会がどんなかがわかりました。)
- 小林義勝会員 (お久しぶりです。先月は誕生日のお祝ありがとうございました。遅れましたのでスマイルします。)
- 鶴丸彰紀会員 (お誕生日のお祝いを頂き、ありがとうございます。おいしく家族で頂きました。親睦委員長としても今回のホームミーティングと、6/30の会長幹事慰労会を残すのみとなりました。最後までご協力よろしくお願い致します。)
- 前原俊治会員 (5月11日は74歳の誕生日でした。あまりうれしくはありませんが。誕生祝有難うございました。)
- 中目公英会員 (本日は卓話をさせていただきました。)
- 金田昇会員 (11年前に植栽した少年自然の家の桜が10本ほど活着していました。来春には花見に行きたいです。)
- 永野文雄会員 (少々遅れました、すみません。中目パスト会長、卓話ありがとうございました。「ライラ」の件少々わかりました。)
- 高島裕会員 (中目パスト会長、卓話ありがとうございました。次年度へのハードルを上げて頂きましたので更に勉強します。)

▶第1711回例会出席状況 (R4年5月19日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	60
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	68.3%



▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんにちは。本日も例会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。本日の例会は、青少年奉仕委員会担当例会でございます。我がクラブから、地区のRYLA委員会に委員長として出向していただいております中目パスト会長が今日はお話していただくことになっております。先日、ズームで行われました地区のRYLA研修は、中目委員長が主宰者となりまして研修を行ってくださったのですが、ズームで行いまして、ロータリアンではない研修者という若手の方が31名参加していただきまして、ロータリアンがそのサポートという形で40名くらい参加していただいて、大体70名以上の大きなズーム会になったと報告を受けております。そういったこともありまして、本日は地区のRYLA委員長を務めます中目パスト会長から、RYLAも含めた青少年育成に関しての卓話をいただきたいと思っております。楽しみにしておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。話はちょっと変わるんですけども、皆さんもご存じだとは思いますが、ネットのニュースとかで沢山流れております非常に残念な明石ロータリークラブの不祥事について、今後我がクラブ的にも、また我々個人個人のロータリアンとしまして、改めて襟を正すという意味でお話をさせていただきたいと思っております。事件が起きたのは、昨年のコロナ禍の非常事態宣言が出る中、飲食店ではお酒の提供をしない時だったようであります。その時に、神戸の六甲山の山中の別荘にコンパニオンさんと呼んで、4人のロータリアンが宴席を設けまして、強制わいせつという行為に及んだということが報道されております。4人は、一人は不動産賃貸業の会長。あとは事務用品の販売会社の社長さん、61歳ですね。あとは、醤油の製造販売会社の社長さんが62歳。もう一方は、空調設備の社長が45歳ということで、皆さんそれぞれ社会的な地位もある素晴らしい方々だったそうであります。被害届は、その事件があった翌日に早速、警察のほうに届けられたようであります。本当に今年、シェカール・メータRI会長が女子のエンパワーメントというふうな事を提唱してまして、いわゆる女性の権限とか自信とか、あとは女性の立場を尊重する、力を付けさせるというふうなことを言っておりましたので、本当にまったくもってロータリアンとしては目を覆いたくなるような行為でありました。正直、私も男でありますからスナックに行きまして、女性と楽しく対応する機会もございます。そういった場合、自分の思っているしきい値とそのホステスの方のしきい値がもう全然違えば、本当に言動やその行為、その事がセクハラに該当してしまうということになりますし、今回事件が表沙汰になったから駄目で、表沙汰にならなかつたらいいんだという話ではなくて、常にそういった言動を注意しながら、自分は面白おかしく言っているつもりでも、相手の取り方はどうなんだろうと第三者的な倫理観を持って、ロータリアンとしてしっかり行動をしていかなければいけないと思ひまして、今後一層気を付けていきたいという誓いのもとに、こういった話をさ

せていただきました。先日、楽器の寄贈で白二小にお邪魔しまして、その話は前々回の例会でも話させていただいたんですけども、本当にあの時あった子供たちや先生が今回のニュースを聞いて、ロータリークラブがというふうにながかりしてるかと思うと、心が痛いかぎりであります。今回の明石ロータリークラブが起こした事件は、明石ロータリーのたった4名のメンバーが起こしたものですけども、明石ロータリークラブも我が西クラブと同じくらいの60人規模の大きいクラブだそうであります。一部の心無い方からは、その残りの54名くらいのメンバーも多分その4人と同じ穴の貉だみたいな形で扱っている方もいると思ひますし、または拡大すれば日本のロータリーメンバーすべてが同じ穴の貉だというふうにながってしまう人もいるんだと思ひます。本当に、今後一人一人しっかりと襟を正して社会の誤解のないような活動、そして行動というものをしていかなければいけないと思ひましたので、私も頑張りますのでよろしくお願ひいたします。西クラブのメンバーに限っては、そういった不祥事を起こすような方はいないと思ひますけども、本当に重ね重ね第三者の倫理観を持って活動していただきたいと思ひますし、わたくし自身もそのように活動してきたいと思ひます。ということをお話させていただきまして、今回の会長の時間はこれで終わりたいと思ひます。今日はよろしくお願ひします。

### ■幹事報告

須藤正樹幹事

- 比国育英会バギオ基金 会長 浅田豊久、総務担当副会長 斉藤実：「バギオだより」配布のお願ひ
- 米沢中央ロータリークラブ 会長 鈴木竹教、幹事 遠藤啓子：当クラブ創立35周年記念例会について（ご連絡）
- ロータリー米山記念奨学会 事務局 長 柚木裕子：ハイライトよねやま266号
- ガバナー事務所 事務局 岡山直緒美：いわき小名浜RC例会会場変更のお知らせ

### ■委員会報告

#### ○親睦委員会

鶴丸彰紀委員長



皆様、こんにちは。親睦委員会の鶴丸です。この度、皆様ホームミーティングやっただいただいていると思ひます。誠にありがとうございます。来週、再来週と発表の例会となりますので、各グループの班長様、もしくは書記から結構ですので、発表日をどちらにしたいのかを私のほうまでご連絡いただけますようによろしくお願ひいたします。

#### ○ゴルフ愛好会

成井正之会長



ゴルフ愛好会の成井です。本年度の最後になります鈴木孝幸会長・須藤年度の第4回のゴルフコンペの開催を予定しております。令和4年6月12日日曜日なんですが、場所は「那須陽光ゴルフクラブ」で行う予定でしたが、通知をメールで流したんですが、メールの返信が帰ってこないでこれでいいだろうと思ひたら、会長がその日はバイク愛好会の総会と重なっているとか言って、ゴルフ場のキャンセルが効くかどうか

は、今日これから交渉してみます。一応、12日で予定しておりますが、うまくいけば19日にずらしたいなと思っておりますが、そのあたりはちょっと不透明であります。その場合は12日で実行していきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○バイク愛好会

矢田部錦四郎会長



こういう愛好会があるということも知らない方が多いと思うんですが、今年度初めて会長の思いで設立されました。いろいろと今年はコロナ禍の中で、出かけることもなかなか思うようにできなかったんですが、何とか、会長も一段落したので慰労も兼ねてちょっとお散歩に行ってきたなと思っております。本来であれば、この前IMで「森は恋人」の講演をいただいた気仙沼に行こうかという話があったんですが、やはりちょっと一泊ではこの時期厳しいかなと。片道300キロを往復走れるのは、私と会長と昇さんくらいしかいないし、あと誰も付いてこないと思われるので、もっと簡単な所にしようということで、今回は6月12日日曜日、これ一応雨だったら中止にしますけども、6月12日の日曜日、甲子トンネルを抜けて、田島、南郷、松枝岐。お昼は蕎麦。そこに行きたいと思ひます。信号もないとこなので、法定速度守っていきますので125以上であれば大丈夫です。どうしても車で付いてきたいという人は、お昼一緒にして美味しい蕎麦一緒に食べていただければと思ひます。出席できる方、バイクない人が沢山いるんですが、白河にレンタル屋さんもないので、とりあえずこの機に一台ぐらい買っただいてツーリングを盛り上げていただければと思ひます。6月12日です。参加できる方は、私のほうまで連絡いただければと思ひます。よろしくお願ひします。

■本日のプログラム

青少年奉仕委員会担当例会

RYLA研修会報告

○青少年奉仕委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんにちは。本日、担当となります青少年奉仕委員会の委員長の藤田と申します。本日は卓話ということで、地区の青少年奉仕委員会のRYLA委員会の委員長をなされてます、当クラブから出向して中目さんから話をいただくこととなりますので、プロフィール等のご紹介は皆さん重々承知の上だと思いますので、その辺は割愛させていただいて、早速中目委員長のお話をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○2021-22年度国際ロータリー第2530地区

青少年奉仕委員会 RYLA委員会 委員長 中目公英様



皆さん、こんにちは。それでは、鈴木孝幸会長年度、2回目の卓話をさせていただく機会を頂戴いたしました。ありがとうございます。34代の会長をさせていただいた後、休みをもらってまたスリーピングのロータリーメンバーに戻ろうと思ひま

したが、次の吉野会長、そして今年度の鈴木孝幸会長の温かい愛情でもって、地区に出向に行きなさいという下命が下りまして、現在地区に行っております。36年の我がクラブの中で、県南分区分代理あるいはガバナー補佐をお務めになった会員はいらっしゃいますが、2530地区の地区の平委員として出向する方は今まで多くいましたが、地区の委員長レベルを受けるのは、もしかすると36年間の我がクラブの歴史の中で初めてになったのかなと思ひます。平メンバーで出向に行くのと、委員長で出向するのはえらい違いでありまして、この間も郡山南ロータリークラブに來いと言われて、郡山南ロータリークラブの例会で卓話をさせられてきました。その時に作りましたパワーポイントの資料がありますので、それを皆さんにお見せしながら話をさせていただきます。

Rotary  
RID2530

rotary youth  
leadership  
awards

---

国際ロータリー第2530地区県南分区分 白河西RC例会卓話資料 2022年5月19日

国際ロータリー第2530地区 2021-22年度  
青少年奉仕委員会 RYLA委員会  
委員長 中目公英 (白河西RC)

私が出向したのは青少年奉仕委員会の中の、RYLA委員会に出向してその委員長です。

Rotary  
RID2530

rotary youth  
leadership  
awards

## 青少年奉仕

---

**インターアクト**  
12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して、1つまたは複数の学校から結成されます。

**ローターアクト**  
18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱します。年齢制限が厳格され、ロータリークラブとほぼ同等の権利と義務を負い、青少年奉仕から独立します。

**RYLA (ライラ)**  
14~30歳の若者が集まり、リーダーシップ、スキル、人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ短期集中研修プログラムです。



**青少年交換**  
海外の人々と交流し、外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供するプログラムで、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成します。

青少年奉仕委員会というのは、特殊な奉仕活動でありまして、ここにありますように4つ、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換。この4つの国際ロータリーが認めたプログラム、これが青少年奉仕の内容になっています。我がクラブで中学生の野球大会、GKBをやっていますが、あれは国際ロータリー的な考えからいうと、青少年奉仕ではなくて社会奉仕。つまり、青少年奉仕はこの4つのプログラムだけ。それ以外の青少年に関わる事は本当は社会奉仕委員会なんです。けれども、私が会長の時に、細則を決める時に、それは今までの我がクラブの言葉に対するイメージとあまりにも離れてしまうから、わざわざ細則の中にこういうふうな文章を入れました。読まさせていただきます。「青少年奉仕委員会、この委員会は、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、(これRYLAのことなんですけど)ロータリー青少年交換などのRIの諸活動を通じ、青少年や若い世代の社会人が地域社会で指導的な役割を果たせるよう支援するものとする。」これが決まっている青少年奉



仕の内容なのですが、そこに加えて「またさらに、青少年の健全育成のために助けを求める青少年や若い社会人を支援することで、我がクラブの活動やロータリー精神に関心を抱かせるような方策を実施するものとする。」というこの一文をわざわざ加えて、我がクラブでやっている野球大会等々も、あれは国際ロータリーのいうと社会奉仕なんだけど、我がクラブでは青少年奉仕委員会の担当という形にさせてもらっている訳であります。そこに書いてありますとおり、インターアクトというのは12歳から18歳まで。中学生、高校生を相手にした奉仕クラブで、一つのロータリークラブが提唱して一つの学校並びに複数の学校から結成されます。多くの場合は、私立の小中学校があるような所だと、担当していただく担任の先生もあまり転勤がなくて、あるいは学校の経営者の理事長さんがロータリアンだったりすると、このインターアクトクラブができやすいというわけですね。県南分区管内で持ってるのは、石川ロータリーさんが石川義塾で持っています。それから、須賀川ロータリーさんで岩瀬農業高校で持っています。その次、18歳から30歳までの若い人達を相手にするのがロータリーアクトクラブです。昨年、白河ロータリークラブさんが提唱して地元白河、平仮名のしらかわロータリーアクトクラブができました。ただ、これはもう既に皆さん方ご承知のように、3年前の国際ロータリーの規定審議会で、30歳までという年齢制限が外されてしまいました。プラス、ロータリーアクトというのにはロータリークラブのメンバー、ロータリアンとほぼ同等の権利と義務を負うようになりまして、次年度の高島年度からはロータリーアクトも国際ロータリーに対して人頭分担金を払う形になっています。そうすると、何歳までやってたっていいということになりますから、このロータリーアクトクラブは青少年奉仕のプログラムから外れて、単独でロータリーアクトクラブという一つの大きい活動分野として取り上げられるようになります。これはどういうことかということ、普通会社の経営者はロータリアンになりますけれども、会社の従業員の方々はロータリークラブに入るのにはなかなかできないのが現状だと思います。そうではないだろうと、ロータリークラブのこのロータリー精神は若い人たちに広く知らせするのが本当だろうと。例えば、我がクラブだと金田昇ガバナー補佐のところには従業員400人くらいいるわけですから、そのうちの30歳から40歳くらいまでの幹部社員を全部ロータリーアクトにして、昇栄ロータリーアクトクラブというのを作って、それでもって貢献すると。つまり、会社の経営者、一つのことを代表する以外の人もロータリーのメンバーとしてふやそうと国際ロータリーが思ってるもんですから、このロータリーアクトクラブが青少年奉仕から来年以降外れるという形になっているわけです。あんまり詳しい話をすると、高島さんが会長になった時に喋ることがなくなっちゃいますからこのくらいで終わります。その他、RYLAは14歳から30歳くらいまでの若者を集めて、その人たちにロータリー精神などをいろいろ教える短期集中プログラムの研修会をしましょうということです。それからもう一つ、これは我がクラブもやっていましたが、青少年交換です。海外の人々との交流。そして、海外での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供するプログラムで、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠

な異文化理解能力を養成します。現在は、一年間の青少年交換のほかに一か月間くらいの短期の新世代交換というのも、国際ロータリーはプログラムを持って要請しています。このようなインターアクト、ロータリーアクト、RYLA、青少年交換が青少年奉仕になっているわけでありまして。一回設立してしまうと、インターアクトもロータリーアクトもずっとお付き合いしないといけませんから、なかなか西クラブが始めようとするハードルは高いですし、青少年交換も一年間お世話をして、向こうに派遣をし、向こうから子供たちを受け入れるとするのもハードルが高いです。私たちのクラブが過去やめた時は、一人の会員にホストファミリーになってもらって3か月間くらい一緒に過ごし、その生活費は全部その会員が個人的に負担をして、「俺は3か月間で150万くらい使っちゃったぞ」というものですから、なんか負担が多くて結局やめてしまいました。また受け入れる高校側のほうでも、実業高校であったり白河旭高校だったのが、なかなかそんな外国の子供たちを受け入れられないとあって、この青少年交換もなかなかハードルが高いのです。そうだとすると、青少年奉仕活動の中で一番やれるのはRYLAしかないというのが現実問題です。我がクラブにおいて、このRYLAに参加した人は、先程喋った藤田龍文さんしかいません。吉成さんがガバナー補佐だった時に、無理くり我がクラブからRYLA研修に行こうって龍文さんを誘って参加したくらいで、あと我がクラブからは残念ながら誰一人参加者を派遣したことはありません。村上さんが青少年奉仕委員長の際に、吉成さんの息子さんたちを派遣しようとした時は、結局コロナでなくなってしまいました。我がクラブにとって青少年奉仕というのは案外馴染みがないんです。野球大会は、あれは本来でいうと社会奉仕なので、国際ロータリーが推奨しているところの、青少年奉仕のプログラムを我がクラブはやっていない。残念ながらそんな現状になっています。おそらくこういうふうに話をすれば、高島年度から改善することになると思いますから、高島年度の青少年委員会の委員長になった堀田君は、多分一生懸命やってくれるんじゃないかと思っている次第であります。

 	青少年奉仕
1916年：ロータリー連合会が青少年活動委員会設立。	
1927年：四大奉仕部門を承認。	
1962年：インターアクト始まる。	
1968年：ロータリーアクト始まる。	
1971年：RYLA始まる。	
1974年：青少年交換始まる。	
1996年：「青少年活動月間」を「新世代のための月間」と改称。	
2010年：「新世代奉仕」が加わり五大奉仕となる。	
2013年：「新世代奉仕」を「青少年奉仕」と改称。	

歴史的なことを言いますと、ロータリーが青少年に対して一生懸命活動をしましょうと言ったのは1916年です。ロータリーの始まりが1905年ですから、その大体10年後に青少年についても一生懸命やりましょうとしました。その約10年後、27年に四大奉仕部門というのが奨励されて、この時にはまだ青少年奉仕というのはないわけです。四大奉仕は何ですか。もちろん皆さんご存じのように、クラブ奉仕、職業奉仕、クラブの奉仕と自分の仕事の奉仕以外に

あるのは、国際奉仕と社会奉仕だったわけです。それ以降1962年に、インターアクトが国際ロータリーの理事会で承認されまして、インターアクトしましょうとなりました。それから、もう少し経ってローターアクトもしましょう。つまり、12歳からお亡くなりになるまで、ずっとロータリーは人間のいろいろなことに面倒見ましょうというふうになったわけでありまして。1971年に、RYLAが始まりました。RYLAよりも後から青少年の交換が始まりました。つい最近、ロータリーになられた方々にとっては目新しいことかもしれませんが、20年以上ロータリーを続けてる方々にとっては、1996年、急に新世代のための月間という言葉が出てきたり、その次は新世代奉仕が一時期あったということが思い出されるんじゃないかと思えます。正式に国際ロータリーの中で四大奉仕から五大奉仕になって、新世代奉仕から青少年奉仕になったのは、なんと大体10年くらい前で、ようやく青少年奉仕が国際ロータリーの中で確立してきたわけでありまして。そういうふうな位置づけでありますから、次年度、高島年度から青少年奉仕の4つのうちローターアクトが分離してインターアクトかRYLAか青少年交換しかないの、このうちの何か一つやらないといけないということを共通認識にしてもらえればと思います。



その中でRYLAはロータリーの造語で、ロータークラブの間でしか通用しない言葉です。そのRYLAというのは、ここに書いてありますように、rotary youth leadership awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム) これの頭文字をとったものがRYLAであります。このRYLA、なんで起こったのかというのはここに書いておきました。

### RYLAのいわれ

1959年、オーストラリア・クィーンズランド州の自治権獲得百周年記念祝賀会に、イングランドのエリザベス女王がアレクサンドリア王女を名代として派遣されました。これを機会に、王女と同世代の青年たちを招き、王女と会う機会を作ろうという計画がもちあがり、オーストラリア中から集まった青年リーダーたちのホストをプリンスベンロータークラブがつとめました。

青少年の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行う事を決め、各クラブ2名ずつの青年を選んでプリンスベンに招待し、1週間、文化・社会・教育プログラムに参加させることにしました。

1959年に、オーストラリアのクィーンズランド州の自治権獲得100周年記念祝賀会に、連邦ですからイングランドのエリザベス女王を呼んだんですけど、その名代にアレクサンドリア王女が来たわけですね。じゃあ、若いアレクサンドリア王女とオーストラリアの同世代の青少年たちを一

緒に招いて、アレクサンドリア王女とちょっとしたイベント、懇親会的なものをしましょうというふうなことを、プリンスベンロータークラブが始めたのであります。このことを通じて、若い人たちの資質の良さに気付いたというわけです。日本的にいうと、皇太子殿下が福島県に行幸に来る時に、福島のちょっとした著名な若者たちを集めて、皇太子と一緒に何かしょうみみたいな事をそんなイメージですね。それで、皇太子殿下、あるいは天皇陛下のご学友になれるような若者を一生懸命養成しましょうというプログラムだと理解してもらえればいいんじゃないかと思えます。それを69年にやり、これは良いとなりまして、プリンスベンロータークラブがロータリー年度その次の年度から毎年やりましようとなったわけですね。

### RYLAの始まりと目的

- 最初のRYLAは、1961年7月にオーストラリアのプリンスベンロータークラブにより実施されました。
- 1971年の国際ロータリー理事会で、正式な青少年奉仕プログラムに採択されました。

地域社会の若い人々の指導力、および善良な市民としての資質や個人および職業人としての能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設けることを目的としています。


その10年後、国際ロータリーの全体的な青少年奉仕のプログラムに採用になったのであります。英語の和訳ですから、日本語としては大変読みにくいんですけど、赤字で書いてあるところがロータリー憲章に載っている文章です。「地域社会の若い人々の指導力、および善良な市民としての資質や、個人及び職業人としての能力。指導力や能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設けることを目的にしています。」若い人たちの指導力やいろいろな能力を伸ばすこと、これにロータリアンが直接関わりますよというものが、RYLAの目的になっているわけでありまして。

### RYLAの目標

- 1) ロータリーが若者を尊重し、かつ若者に関心を抱いていることを一層明らかにすること。
- 2) 選ばれた若いリーダー、およびリーダーとなる素質のある若者に研修を経験させ、責任ある有能なボランティアの若いリーダーとなるよう激励し、援助すること。
- 3) 若者による若者への絶えざる力強いリーダーシップを奨励すること。
- 4) 若者のリーダーとして地域社会に尽くしている多くの若い人の優れた資質を公に認めること。

その目標が、これもロータリー憲章に書いてあることなので、わかりにくいんですけど、「ロータリーが若者を尊重し、かつ若者に関心を抱いていることを一層明らかにすること。」「選ばれた若いリーダー、およびリーダーとなる素質のある若者に研修の機会を経験させ、責任ある有能なボランティアの若いリーダーとなるように激励すること。」等々が目標になっています。


このようなRYLAの短期研修なんですけど、それは具体的にいうと14歳から30歳の若者を対象に、スキルと人格



### RYLAのプログラム

- RYLAは、年齢14～30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕・高い徳的規準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する、セミナー・キャンプ・ワークショップ等の形式で開催されます。
- 通常、開催期間は3～10日間で、ロータリアンによる主催の下、クラブ・地区・多地区合同のいずれかで行われます。
- ガバナーは地区内のすべてのRYLA行事に対し責任を負うので、ガバナーが主催して、RYLA委員会が主管して行われます。

を養いながらロータリーの奉仕、今でいうと5つの中核的価値観というロータリーの価値観を若い人たちに教えるようなセミナー、キャンプ、ワークショップなどの形式をRYLAといいます。国際ロータリー的な期間は、3日から10日間。大体およそ1週間の短期研修プログラムで行われます。そのRYLAの研修に対して、一人一人のロータリアンはどういうふうな形で関わるのかというのがこの文章です。




### RYLAでのロータリアンの活動

- ロータリアンは、他団体からの候補者、ならびに社会的経済的に恵まれないがリーダーとしての資質を備えた若者を含めて、リーダーシップ育成の機会になかなか恵まれない者を、RYLAプログラムに招待する。
- RYLAプログラムの参加者が、これからの活動にも引き続いて関わるよう、今後のRYLA活動の企画に参加させ、ロータリー学友として参加するよう奨励する。

「ロータリアンは他団体からの候補者、並びに社会的経済的に恵まれないがリーダーとしての資質を備えた若者を含めて、リーダーシップの機会になかなか恵まれない者、こういう者をRYLAのプログラムに参加させる。」だから、各企業さんの中堅どころの人であるとか、白河地区で頑張っている人達、他団体で青年会議所であるとか、YEGであるとか、農協青年部とか、そういうふうな他団体の若い人たちにRYLA、ロータリアンの精神を教えるような短期プログラムに参加してみなさいと声をかけるということが、一人一人のロータリアンに要請されているわけです。1回参加したならば、今後RYLA活動の企画に参加してロータリーの学友。つまり、ロータリーの仲間、ファミリーなんですよと、ずっとその人をフォローすることが一人一人のロータリアンに課せられているところの活動なんです。ですから、皆さんRYLAは俺と関係ないと思わないでください。RYLAという研修会があると聞いたら、誰か良い人はいないかって自分で探して、1回参加することになったらその人をずっとフォローしていくような活動をロータリーの人たちはしてってくださいと国際ロータリーでは推奨しているというわけでありませう。

我が2530地区では国際ロータリーが言ってるような1週間の研修プログラムというのはどうしても長すぎるということで、一泊二日の短期集中研修会を開催しています。大概、一泊二日。過去二年間、2019年から2020年の芳賀裕ガバナー年度と、去年の2020-2021の石黒秀治ガバナー年度は残




### 第2530地区のRYLA研修会

**ガバナーが主催し、青少年奉仕委員会RYLA委員会が主管する、ロータリーの精神のもとで指導者を養成する、1泊2日の短期集中研修会として行っています。**

2019-2020芳賀 裕ガバナー年度 **コロナ禍により中止**  
 2020-2021石黒秀治ガバナー年度

2021-2022志賀利彦ガバナー年度は何となくも開催したいと準備してきました。

念ながらコロナで中止になってしまい、吉成さんの息子さんたちは参加できませんでした。今年、私が間違っってRYLA委員会の委員長になったもんですから、志賀ガバナーからは、3年続けて中止はやめてくれという厳命が下り、一年間活動を進めてきたわけです。




### 第2530地区のRYLA研修会

参加出来る対象者は、18～35歳くらいまでの男女です。(30歳代ならば、OKです。)

- ◎ **ロータリアンの子弟**
- ◎ **ロータリアンの経営する会社で活躍する青少年**
- ◎ **クラブ所在地域で活躍が顕著とされる青少年**

クラブが推薦し、クラブが参加費を負担して、研修生を派遣していただきます。

じゃあ、RYLAに誰を送ったらいいんだというと。18歳から30歳までと国際ロータリーでは言っているのですが、具体的に、誰出していいかわからないっていうので、ここに書いてあるとおり、ロータリアンのお子さん方、お孫さん方。あるいはロータリアンが経営している会社の中堅どころで活躍しているような社員さん。あるいは、この地域で活躍が顕著だと思われるような若い人。こういう人をクラブが推薦をして、その参加費用は全部クラブがもって研修生を派遣することが要請されているわけでありませう。堀田さんは今から誰送ろうかを考えておいてください。



### 第40回RYLA研修会


**2022(令和4)年**  
**2月26日(土) 13:00集合**  
**2月27日(日) 13:00解散**

**磐梯熱海温泉 ホテル華の湯を会場にして**  
**1泊2日のRYLA研修会を開催します。**

今年の2月26日と27日に磐梯熱海温泉の「ホテル華の湯」で一泊二日の研修会をしましよと計画していました。これは余談ですけど、「ホテル華の湯」の経営というのは同じ系列の「栄楽館」がやっていて、「栄楽館」は郡山商工会議所の常議員の菅野さんという方で、この方もロータリ



アンなんですけど、1週間くらい前にたまたま南湖神社にお越しになりました。「栄楽館」というのは渋沢栄一の栄と白河楽翁公の楽から、この旅館の名前は「栄楽館」と付けたんだと教えていただきました。南湖神社と渋沢栄一公と松平定信公と磐梯熱海温泉の「栄楽館」は本当に結びつきが強いんだという話を聞いて勉強させていただきましたので、磐梯熱海温泉に行く時は皆さん「栄楽館」に泊まってください。これ「ホテル華の湯」さんも系列ですから構いません。白河と縁が深いんだそうです。



### 第40回RYLA研修会

新型コロナウイルス感染症感染拡大の第6派襲来により、1月14日に危機管理委員会が開催され、地区主催の行事はすべてオンラインで開催することが決定されました。

3年連続のRYLA研修会開催中止だけは避けようと、ガバナー事務所・郡山地区事務所・地区オンライン支援委員会のご協力もいただき、我が地区で初めてとなるオンライン開催に向け、急遽計画練り直して、何とか開催が実現しました。

31名の研修生が登録参加され、派遣ロータリークラブよりのロータリアンが19名、地区の役員委員のロータリアンが27名、総勢79名で開催されました。

一泊二日の研修会をしましょうと、7月以降任命されてから大体半年間くらいかけてプログラムの内容を検討してきたわけですが、皆さん方ご承知のとおり、1月14日に地区の危機管理委員会が急遽開かれまして、オミクロン株の第6波の襲来で、地区行事はすべてオンラインでしなさいと決定がされました。志賀ガバナーからどんな形でもいいからやれと言われるし、危機管理委員からはリアルでできないからオンラインでやれと急遽言われて、2月ですから1か月後にどうしましょうかということで、ほとんど毎日のようにこのRYLA研修の練り直しのためにあちこち何だかんだしないといけない日々を送ることになってしまいました。先程、会長からちょっと話が出ましたが、急遽呼びかけまして31名の研修生が集まりました。我がクラブも孝幸会長にお願いしたのですが、残念ながら派遣する人を見つけてもらうことができなかったのが31名。その他、お付き添いのロータリアンが19名。地区の役員の方々の方が27名で、大体79名でやりました。



### 第40回RYLA研修会

SDGsの理念に合致する事業をリーダーとして企画してみよう



※社しよう みんなの人生を豊かにするために

今年のテーマは、今流行りです。「SDGsの理念に合致するような事業をリーダーとして企画してみましょう。」つまり、一泊二日の研修会を考えていましたから、研修生たちがいろいろ話をして、こんな事業がいいだろう。じゃ、この事業をするためにはどういうふうな準備物が必要で、どんなことをしてみればいいのかというふうなことを話し

合ってもらおうと思っていたわけです。例えば、金田昇ガバナー補佐の指導のもとで、ロータリー奉仕デーで我が県南分区はそれぞれの駅でゴミ拾い奉仕作業をしたわけですが、それみたいなことをそれぞれ参加者がグループごとに考えてみましょう。このSDGsというのは、2030年までに持続可能な社会を作るために17の項目で何とか達成しましょうという活動で、今年度のシェカール・メータ会長のテーマである「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」という、そのロータリーのロゴマークの地球もまさにSDGsなわけです。先程からしている私のマスクもSDGs。このマスクはRYLA研修に参加した人だけが特別に貰えるマスクだったので、今日は持ってきました。その前に、話し合う材料として講師2人の方にお話をさせていただきました。



### 第40回RYLA研修会

#### 講師紹介

大内克泰

遊VIVA GYM 代表

日本スイミングクラブ協会特別講師  
ライフキネティック公認マスタートレーナー

小学生の放課後の居場所作りと、運動未経験の大人の運動入門をコンセプトに、ニュースポーツと最新の脳トレプログラムを実施




一人は、大内克泰さんという方です。この方は2メートル4センチの身長と140キロの体重を持っている日本人離れしたようなインストラクターなんですけれども、ドイツで推奨されている、いわゆる脳トレと体を動かすことを一体的に考えようというライフキネティックという、新しい脳トレーニングプログラムのトレーナーです。ゴミ拾い活動は実はどのゴミが拾うべきゴミなのかを判断をし、このトングでつまむ時にどのくらいの力の加減で、そのゴミを拾うかを瞬時に頭で計算しているんだと。ですから、いろんなところを歩き回って、どのゴミを拾ってどのゴミは拾わなくてよくて、そのゴミを拾う時にはそういうふうな体の動きをしないとイケないのかというふうなことを、人間は自然にやっているわけですが、それを意識的にやってみると頭が活発化して、ゴミ拾いは本当に勉強になる、頭の活性化になる大変良いプログラムなんですと講演してもらいました。研修生も大変面白いとお話を聞いていました。



### 第40回RYLA研修会

#### 講師紹介

鈴木文健

福島県郡山市出身・俳優

福島中央テレビ「ゴジてれChu！」で「フンケン歩いてゴミ拾いの旅」が放送

中テレSDGsアンバサダー就任




その次が、このマスクのもとで、福島中央テレビで夕方やっている「ゴジてれChu！」の中の一歩の人気の企画

コーナーである「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」の、鈴木文健さんに来てもらいましてお話をさせていただきました。お話の内容は、東京オリンピックで福島市が会場となるから、ソフトボールのその会場近辺を綺麗にしましょうというのが出発点であったそうです。いろいろゴミ拾ってみると、国道沿いにはペットボトルがいっぱい落ちていて、黄金色の水がいっぱい入っている。黄金色の水がいっぱい入っているペットボトルとはこれ何だとなって、おしっこペットボトルだとわかって。国道沿いにはおしっこペットボトルがなんでこんなに落ちているんだと嘆きながらゴミ拾い活動しているうちに、そのゴミというのはゴミじゃないんだ。これは、一つ拾うことによって福島県が綺麗になるチャンスをゴミを拾う人に与えてくれる希望のカケラだと。この希望のカケラを沢山いっぱい拾うと、福島県は綺麗になるからゴミ拾い活動を前向きに考えましょう。根本は、福島県を良くしたいからなんです。だから、SDGsの17の項目のあれをしましょうと一番初めから考えると、何となく遠いことで億劫でやりたくないという気持ちが先に強くなってしまいますけども、そうではなくて常日頃自分たちがやっている活動に、もう一回その活動というのを振り返って考えてみると、SDGsの項目のこれに当たり、もう一工夫を加えてその通常やっている当たり前のことを一生懸命頑張れば、2030年までには持続可能な社会ができるんじゃないのか。普通の日常茶飯事の事柄にも、一回反省をして考え直し、更に一工夫加えることでSDGsの活動になるんですよと話をしていただきました。

第40回RYLA研修会

研修生たちは、講演の後で、4つのブレイクアウトルームに分かれて、先ず自己紹介をして、年齢や職種が異なる中でも、真剣にグループディスカッションに取り組みました。

若い研修生たちが考える「ふくしまの課題は？」

これらの講演を聞いて、31名の研修生がグループディスカッションをZOOMで行いました。今の20代30代の人たちは現在の日本、並びに福島について何が一番問題なのかと思ってるかという、一番は少子高齢化。人口減少問題が自分の周りの一番の問題だと思っている若い人が多い。少子高齢化、そして後継ぎがいないこと。それらを解決するような、SDGsの項目にあるような事業を企画しましょうと、みんなで活発な意見を交わしていただきました。

ガバナー月信 四月号 掲載されました

このRYLA研修会は、ガバナー月信4月号に見開きでこのような形で報告になりました。この間、金田昇ガバナー補佐が行われたIMも5月号のガバナー月信に載っています。まだ読んでいない方は、金田昇ガバナー補佐が一生懸命書いた文章ですから読んでみてください。

**第14回全国RYLA研究会**

期日 2022年5月21日・22日

場所 鳥取県鳥取市 ホテルニューオータニ鳥取

第40回RYLA研修会の報告書を以て、日本の34地区のRYLA委員会関係者の集まりに、第2530地区を代表し参加できます。

このガバナー月信の4月号を、現在このような形で大体40ページから50ページの報告書にまとめてあります。IMも報告書を作って大変なんですけれども、このRYLA研修の報告書も1から10まで校正をやっていました。このRYLA研修会の報告書は、もう間もなく我がクラブにも送られてくると思います。今度、この報告書を持って第14回全国RYLA研究会に行ってみると、志賀ガバナーから言われています。

今回の研修会で学んだことや気づいたことを生かし、研修生が自分の将来を見つめつつ、会社や地域社会でリーダーシップを発揮されることを期待しています。研修生はライラリアンと呼ばれ、今後もロータリーの学友の一員として、ロータリーに関心を持ち続けてもらいたいと望んでいます。これを以て、地区初となったオンラインによる「第40回RYLA研修会」の報告とさせていただきます。

ご清聴いただき ありがとうございます。

国際ロータリー2021-2022年度  
青少年奉仕委員会 RYLA委員会  
委員長 中目 公英 (白河西FC)

今週末5月21日と22日、鳥取県鳥取市で全国RYLA研究会が行われまして、日本にある34地区のRYLA関係者が集まり、今後RYLAをどういうふうにしましょうかという話し合いに、2530地区を代表して行ってきます。福島県から鳥取に行くのは本当に不便で不便で、フライトで行くんですけれども、東京前泊、東京後泊があって4日間かけて行って来なくちゃなりません。RYLA研修会で若い人たちに勉強していただくことと、その研修会を通じて気付いてくれたことを若い人たちが生かし、自分の将来のことを考え直し、自分が住んでいる会社ないし地域社会でリーダーシップを取ってくれるよう育つことを、ロータリーは期待しています。是非来年度からは我がクラブもRYLA研修会に研修生を派遣してもらえればと思います。以上、簡単ではありますが、青少年奉仕、並びにRYLA研修会の報告をさせていただきました。ご清聴、誠にありがとうございました。